



2学期で調子が戻ってきました

実質、学校では小規模校の機動力を生かして、子どもたちは順調に学習の遅れを取り戻しました。制約だらけでいつもとは違ったことも多くなりましたが、できない活動の時間も他の学習の補填に使うこともできました。できなかった活動等をこの先取り返すという課題もあります。小規模の附属小だからこそできたことがたくさんありました。中規模校以上では実施困難でした。

春の行事が軒並み中止や延期になったのは子どもたちには申し訳なかったですが、変則ではありますが2学期に再開できたことに安堵しています。いつもなら学習や行事、様々な取り組みで盛り上がる2学期ですが、林間学校や修学旅行まで秋の実施で、季節感までとんでしまうような状況でした。

運動会も紆余曲折を経て、半日でお弁当無し開催となりました。実に残念でしたが、「半日でも充実していてよかった」とか「お弁当をではない楽しいお昼が食べられてかえって新鮮だった」など、前向きなお話を聞くことができたことに主催者としてほっとするところもありました。

30年以上続いている附属小名物とも言える「ほうとう煮会」も初めての中止に追い込まれました。各学年の子どもたちは畑で作物を育てましたが、ほうとう煮会ができなかったのが家庭で食べることで済みました。「お家で食べて美味しかった」などの話が聞けたのがせめてもの救いです。でも、やはりお祭りで味わいたいものです。来年は実施できる良い年になることを祈っています。

季節感がないまま今日を迎えましたが、ここで2年生にクリスマス演奏会、1年生に年末大セールのお知らせに招待していただき、年末を感じられました。楽しく癒やされて感謝しました。

学校生活を振り返る

<学習>

- ・向かい合っただけの話合い活動は避けたが、附属小では話合いが進められた。
- ・理科の実験では密を避けるために制約はあったが、個別に実施できた。
- ・体育では触れ合う内容がある体操、倒立支持、運動補助、接近戦になる球技などを避け、必要な場合は消毒や手洗い等で安全の確保にあたった。
- ・音楽の合唱や合奏は三密を避けながら実施した。
- ・家庭科等では調理実習に制約があり、個別で自分のものを自分で作るのみとした。林間学校では炊き込みご飯を自炊し、自分だけで食べた。

<行事>

- ・いろいろな地域の人が集ったり、密になったり、食品を扱う内容は実施できなかった。親善音楽会、陸上記録会、ほうとう煮会などである。

(学童でも焼き芋集会在中止になったそうです)

<生活>

- ・学校に入るときに手指、下校時に机等を消毒。
- ・長い休み時間や体育の終了後、給食時に手洗い。
- ・健康観察の徹底 (家庭にもお願いしています)
- ・全校朝礼は体育館で十分間隔をとって実施できた。
- ・児童会役員選挙立会演説会は市内でのクラスター発生に伴い、電子黒板とテレビ会議機能を使っただけの各教室での視聴と意見交換で実施した。

3学期が同じ状況でも しっかり対応していきます

終業式で全校児童に話しました

林間学校や修学旅行、遠足が秋に集中した不思議な二学期が終わります。陸上記録会や親善音楽会もなくなって、いつもと全く違う一学期でした。

二学期は勉強の遅れを取り戻すために、みなさんはとてもがんばりました。手洗いやうがい、消毒などいつもに比べてやらなくてはならないことも増えましたね。でもめんどくさげらずに続けました。マスクを買っていただいたり、家族の協力もありがたかったですね。勉強の様子もみなさんのあゆみを見ながら、とてもよくがんばっているのがわかりました。また、児童会執行部のリーダーシップで数は減ったけど、取組もがんばっているのが校長先生はうれしかったです。登下校の様子もとてもよいですね。1列で間も開いていました。1, 2年生も立派で、高学年のみなさんがしっかりしているからかなとも思っています。

冬休みを迎えるに当たって、みなさんにお願いが三つあります。

一つ目、いろいろなことをやってください。他の地域で大人が集まったとき、「今の子どもはダメだ。ゲームばっかで勉強も外遊びも手伝いもしない。ゲームが終わったらスマホだLINEだと機械に使われている」との話を聞きました。他でも同じような話をよく聞きます。現代に生きているのだから機械も使わなくてははいけません、同じことばかり、また、にたことばかりしていると脳が固まって、いろいろなことができなくなるそうです。いろいろなことをやってください。たぶん今年は、家にいることが多い冬休みになると思います。家族ともよく話し合っ、楽しい冬休みにしてください。

二つ目、良いことをしてください。2学期に小学生が河原で火遊びをしたかもしれないという情報がありました。附属小の子どもにそんなはずはないと色々調べていただいたところ、小学生はやっていなくて、たき火をした大きい人に「危ないから止めた方がいいよ」と注意までしたそうです。近くにいたから勘違いされたのかもしれませんが、河原に子どもだけだとそれは良くないことです。しかし、聞いた部分で間違いないのはたき火が危ないと判断して、なかなか大きい人に言いにくい「止めた方がいいよ」という注意までできたことが涙が出るほど素晴らしいと思いました。いやなことがあると、友達を責めたりいじめたりする子どもが増えているそうですが、この人たちを見習ってほしいと思いました。でも、怖い人や不審者もいますから、そこは安全第一でお願いします。

三つ目は、早寝早起き朝ご飯です。これは山梨県の小中学校で取り組んでいる生活の基本です。毎日同じ時刻に起きて、しっかり1日の力の元になる朝ご飯を食べようというものです。長い休みになると生活が乱れやすいです。しっかりと健康な体を作ってください。

3学期にみんなが元気に登校できることを祈っています。良いお年をお迎えください。

2021年もよろしくお願ひいたします